

市制記念日  
(10月8日)



# 子ども歳時記

市制100周年記念版

初代  
市章  
(1917~)



2代目  
市章  
(1936~)



尼崎市は大正時代初頭、第一次世界大戦真っ只中の1916年4月1日、神戸、姫路に次ぐ県下3番目(全国で66番目)の市として誕生しました。当時の尼崎町と立花村の一部(東難波・西難波)が合併して尼崎市となりましたが、そもそも「尼崎」の地名は、海で生計を立てている「アマ(=漁民)」が居住する「サキ(崎)」という地理的特徴に由来すると考えられています。

そして20年後の1936年には小田村と合併し、市章も工都を示す「工」と「ア」「マ」の字を図案化した初代のものに、小田村の「小」を重ねた現在の形になりました。

その後、1942年には大庄村、立花村、武庫村と、1947年には園田村と合併し、現在に至ります。

誕生時は約3.2万人だった人口も、合併と産業の発展によりピーク時(1971年)には約55.4万人に上りましたが、その後は徐々に減り続け、現在は約45.2万人です。

さて、市制施行日は4月1日ですが、小田村との合併の際に祝賀式が行われた10月8日を市制記念日として定め、現在まで引き継がれています。

それを受け、100周年記念日も毎年恒例の市民まつりも、この日が軸になっているのです。



参考：尼崎市100周年新聞



## 尼崎市市制100周年記念事業

今年の市民まつりは、市制100周年記念事業として  
**10月8日(土) 13:00~20:00**  
**10月9日(日) 10:00~18:00**の2日間、  
 阪神尼崎駅周辺(アルカイクホール、サンシビック、中央公園、アルカイク広場など)で、出店、展示、フォーラム、ステージなど、大々的に催されます。  
**公式サイト** <http://www.amashininmatsuri.com/>

ピギナスでは、その中から、特に子連れで楽しめる「こどもひろば」(右表)についてご紹介します。

# 尼 崎 市 民 ま つ り

8日(土)	12:30	アルカイクホール前広場	100周年記念 バルーンリリース
	13:00-	消防局 (尼崎市防災センター)	消防局内の見学・体験 ミニ消防車で撮影
	14:00-14:30	中央図書館	読み聞かせ・図書館探検
	15:00-16:00	文化財収蔵庫	すごろく・ぬりえ・ 缶バッジ作り
9日(日)	11:00-11:30	中央図書館	読み聞かせ
	14:00-14:30	文化財収蔵庫	図書館探検
	15:00-16:00	文化財収蔵庫	すごろく・ぬりえ・ 缶バッジ作り
	12:00-13:30	寺町	寺町スタンプラリー
	14:00-15:30	寺町	忍者になって寺町探検
	10:00-16:00	サンシビック尼崎	詳細は下記参照↓
		手づくりコーナー	貯金箱作り、水道管を使って、科学工作 など
		実験コーナー	尼崎市水道局による実験
		ゲームコーナー	ボーイスカウトやマクドナルド社などによるゲーム ふわふわ、ミニSL、自転車シミュレーター、白バイに乗ろう
		泣き相撲大会(対象:生後5ヵ月~3歳)	報徳学園相撲部の力士に抱えられて大地に素足をつけ、 健康と成長を祝います
		お茶席	高校茶道部の生徒がお茶席でのマナーなども教えてくれます
		ステージ	マジックショー、尼崎レンジャーのショー、高校吹奏楽部、 尼崎キャラクターショー、ドナルドショー、尼崎〇×クイズ大会

